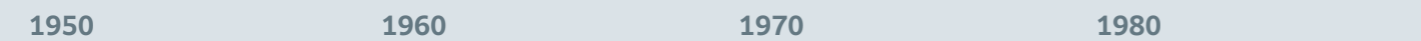


価値創造の歴史

世界の電子化を支え続けてきた70年

太陽誘電は創業以来、主力製品である積層セラミックコンデンサを中心に、インダクタ、通信デバイスなど、様々な電子部品を世の中に提供してきました。太陽誘電の製品は、古くはトランジスタラジオ、テレビ、ゲーム機器、近年ではスマートフォンやタブレット端末をはじめ、自動車や産業機器などの電子化が進む分野で幅広く使用されています。太陽誘電は電子機器の進化とともに価値を創造し、成長を続けています。

■ 売上高の推移



■ 海外売上高比率



1950年9月

チタン酸バリウム磁器コンデンサ「ルチルコン」を商品化

1954年9月

小型フェライトコア「フェリットコア」の生産を開始

1964年9月

技術研究所を設立

1967年5月

台湾・台北市に初の当社現地法人を設立



設立当時の台湾太陽誘電

1970年3月

東京証券取引所市場第二部に上場。1973年に一部に指定替え

1976年7月

アキシタルリード型磁器コンデンサを世界で初めて商品化



アキシタルリード型磁器コンデンサ

1977年10月

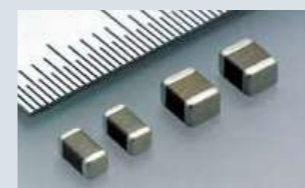
世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発



円筒チップ型磁器コンデンサ

1984年7月

ニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサを商品化



ニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサ「3216」「3225」タイプ

1988年9月

世界初の追記型光記録メディア「CD-R」の商品化を発表



DVD-R、BD-R、CD-R

1999-2000年

海外4生産拠点を同時立ち上げ



TAIYO YUDEN (SARAWAK)

2001年4月

Bluetooth®フルモジュール、Bluetooth®規格Ver1.1認証を世界で初めて取得

2010年3月

太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社を子会社化



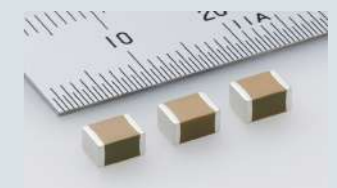
太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社

2018年4月

エルナー株式会社を子会社化

2018年5月

世界初、静電容量1,000μFの積層セラミックコンデンサを商品化



小型大容量積層セラミックコンデンサ 4532サイズ(4.5mm×3.2mm)1,000μF